

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	文教大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ブンキョウダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F113310102868
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	情報学部
	担当教職員名・役職	梶並知記、櫻井淳、松本修一、加藤綾子、白土由佳
	受講者数実績年度	令和2年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	4
	受入企業等数	2
	受入企業等名	株式会社エヌ・エス・ピー、株式会社ソフテム
	インターンシップの分類	6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	民間企業にて、10日間以上実務またはそれに準ずる体験をしています。実習後には体験報告書の提出を義務付け、体験報告書を基に体験報告会として成果発表を行う場を設けています。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	6.当該インターンシップは、選択科目として実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部2年 大学 学部3年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	2, 3年生を対象に以下の内容を条件に単位認定を行う。 1) 事前・事後研修(全6コマ)に出席すること 2) 実習期間が10日間(80時間)以上の実習に参加こと 3) 体験報告書を提出すること 4) 体験報告会に出席すること
	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている

要素③		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	180分×2回の事前研修を実施。 就職活動のスケジュール、インターンシップの理解、ビジネスマナー基本スキルを身に付けさせた。マネジメント・サイクルを課題とし各インターンシップ先での実習の取り組み姿勢を理解させる。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	180分×1回の事後研修を実施。マネジメント・サイクルの観点からのインターンシップを振り返りを行う。報告書を作成提出する。
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	教員が分担し、実習先に訪問し、状況確認を行っている また、何らかの相談、問題があった場合には事務局に連絡がくるようにし、その後担当教員にメール、電話での連絡を行っている	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準（例：ルーブリック）を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	実習期間中に日々の日誌の作成、終了後に成果報告書の提出を義務付けている。また、現場で得られた体験を基にインターンシップ体験報告会を実施し、各自の成果を評価できる場を設けている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	実施期間10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	10日間以上80時間以上の実習時間を単位認定の条件。

要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
		3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
		4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容		
6-3.上記回答内容に関する詳細	インターンシップ期間中は、学生が日誌を記入し、受入企業・団体の担当者にコメントをもらい、評価とフィードバックをいただけるようにしている。実習後、受入先企業には「インターンシップ評価表」をご提出いただいている。研修内容の理解度、研修中の態度、研修の成果、総合評価に関する評価に加え、自由記述式で学生に対するコメントもいただいている。この評価書はインターンシップ後に参加学生にフィードバックしています。	
7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://bibbs.bunkyo.ac.jp/up/faces/login/Com00501B.jsp	
問い合わせ先	大学等名	文教大学
	担当部署名	大学事務局キャリア支援部 湘南キャリア支援課
	担当者役職名	主任
	担当者氏名	澤田 直樹
	電話番号	0467-54-3708
	メールアドレス	jobshonan@stf.bunkyo.ac.jp